**木下和好の履歴・体験**

＜陸上競技＞

走り幅飛び、高跳び、三段跳び：　小６～中３　市の競技会で４年連続全種目優勝

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　３段跳びは中１から、清水市の中学好記録は未だに破られていない

中３で県大会３位　（オリンピックを目指すように言われた）

＜英語の体験＞

小６から英語を独学で学び始める

中１でアメリカ人宣教師と出会う

中２（全国中学校英語弁論大会決勝出場）

中３（全国中学校英語弁論大会で全国優勝の可能性があったが、あがって失敗）

高１（全国英語弁論大会決勝で審査員が全員イギリス人だったため、優勝を逃す）

高２（全国英語弁論大会決勝で審査員が全員アメリカ人だったので、優勝）

中３で通訳の訓練を受け始め、高１から通訳を開始

大学の学費・生活費は通訳等のアルバイトで捻出

＜音楽＞

小学校オーケストラでバイオリンとコントラバスを弾いた。小５・小６で静岡県コンクール優勝

（全国大会はなかった）

中学校でコーラス部にも所属し、中３の時全国コンクール２位

大学で声楽を学び、ソロ、デュエット、クオーテット、合唱で数多く歌った。

＜学業＞

中１・2・3 と全ての学期で全ての科目が「５」の評価

高2・３ と ２年連続で、全国一斉英語実力試験で全国１位

米国大学院入学のために実施される学力テスト GRE の数学部門で全米１位

米国大学院を Summa Cum Laude で卒業

＜貴重な体験＞

中３の時、静岡ラジオ英語番組の模範リーディングを任された

中３の時、今の天皇・皇后も出席した晩餐会に招待された。（英語弁論大会の優秀者達と一緒に）

大学１年の時、ベルリンで開かれた「世界宣教大会」に日本から（私を含め）学生が２人招かれた。

大学３年の時、日本で撮影された米国の短編映画の主役を務めた。

1991年に米国大統領朝食会に招待された。

米国大学院からLitterarum Doctor (文学博士)を授与される

＜仕事・奉仕＞

米国大学院卒業後、米国企業に就職し、永住権を取得

BLA英語学院を経営

英語関連の２０冊ほどの書籍を執筆

いくつかの雑誌に英語関連の記事を連載

各種講演会の講師を務める

民放ラジオのラジオ英語番組を担当

NHK TV・ラジオの「Dr.キノシタの面白英語塾」を担当

その他多くの民放 TV・ラジオ番組にゲスト出演

国会クリスマス晩さん会で毎年外国大使の通訳

夫婦で English Bible Study を複数の場所で続けている

恵シャレーで毎年（３０年近く）「通訳セミナー」を主催

英語発音矯正具 ReaL Stick を発明、特許取得

YouCanSpeak（オンライン英語スピーキング教材）を開発